

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

## 「あおり藍」から抽出した機能性成分を使った商品による新たなブランド構築事業

東北医科薬科大との連携により開発した、藍から機能性成分トリプタンスリンを抽出する技術を用い、抗菌・消臭剤などを開発し藍染め商品とは違う新たなブランドを構築する。

### ➤ 連携体

**農林漁業者** 農事組合法人羽白開発(法人番号3420005000264)(米作農業)

水稲などで構築した減農薬減化学肥料の高度な栽培技術を活用し、本商品に適した農薬を使用せず化学肥料を投与しない藍栽培に取り組む。

**中小企業者** あおり藍産業協同組合(法人番号6420005002316)(繊維雑品染色整理業)

無色であるトリプタンスリンの特性を失くすことなく効率よく抽出する方法を確立したことで、抗菌・消臭、食品の劣化防止などの様々な商品の開発・製造が可能になった。藍染めとは違う性格の商品であり、新たなブランドで販売する。

**サポート機関等** 青森県中小企業団体中央会、(独)中小企業基盤整備機構東北本部

### ➤ 連携の経緯

あおり藍産業協同組合が設立した際に、藍栽培を本格的に実施する事業者を探していたところ、青森市の働きかけにより農事組合法人羽白開発が行うこととなった。以降、あおり藍産業協同組合に対しては農事組合法人羽白開発が継続的に藍を提供しており、本事業でも連携することとなった。



藍畑

### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

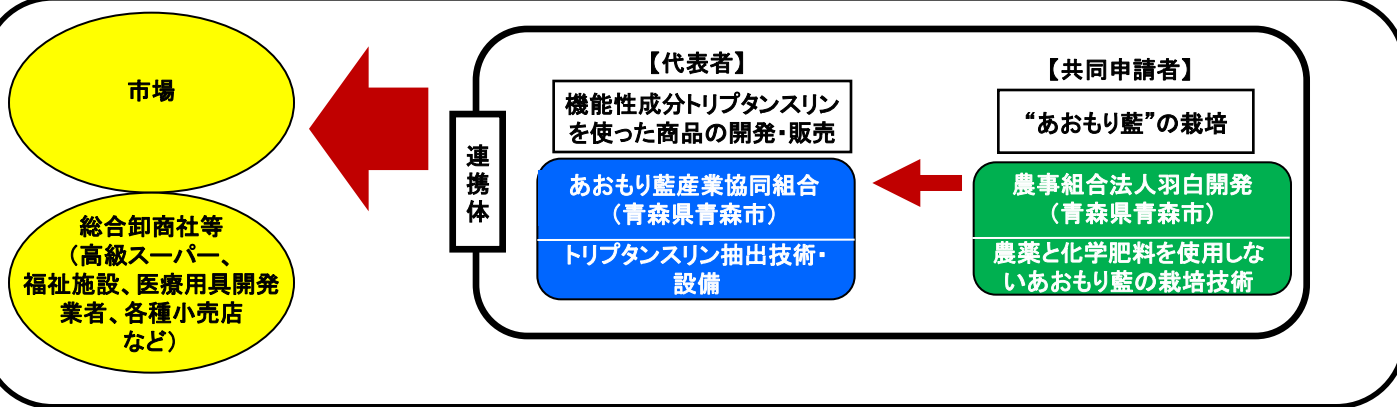
藍の栽培を本格的に行う農業者が青森県内にいなかったこと、農薬を使用せずに栽培したことなどから、手作業が中心の労働体系であり、労賃の占める割合が高かった。その後、苗の定植の機械化などにより、労力の大幅な削減を行っているが、今後、収穫した葉の選別機械、天候に左右されない良質な乾燥機の導入により一層の高品質化、省力化に取り組むこととしている。



乾燥した藍葉



消臭剤



### ➤ 連携による効果

**農林漁業者** 5年で480万円の売上高、定額買取による経営の安定化、遊休農地の有効活用

遊休農地活用による生産拡大と省力化機械の導入により、利益の向上と経営の安定が期待される。

**中小企業者** 5年で8,600万円の売上高増加、収益性の改善

藍染製品に加え機能性成分を活かした商品での事業展開を図ることにより、売上の増加と収益性の改善が期待される。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：あおり藍産業協同組合	所在地：青森県青森市堤町二丁目24-20
T E L : 017-763-5420	F A X : 017-763-5423
E - m a i l : yoshida-ai@lake.ocn.ne.jp	ホームページ : http://aomoriai.com/